

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方(もしくは代理人の方)にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	レジストリ登録データを利用した卵巣腫瘍肺転移切除例の検討	
1.研究の目的と方法	目的：卵巣腫瘍肺転移に対する外科的切除の有用性および予後因子を明らかにすることです。 方法：卵巣腫瘍肺転移に対して外科的切除を行った患者さんの情報を収集し、解析します。	
2.研究期間	倫理委員会承認日～2024年12月31日まで、研究の実施を予定しています。	
3.対象となる方等	卵巣腫瘍の患者さんで、1996年1月1日～2021年12月31日の間に以下の医療機関にて卵巣腫瘍肺転移に対して外科的治療を受けた18歳以上の方で、過去の先行研究(転移性肺腫瘍に対する肺切除症例データベース作成のための多施設共同コホート研究(帝倫19-013-4))に参加いただいた方。 <医療機関名> 東京慈恵会医科大学附属病院、がん研有明病院、慶應義塾大学病院、埼玉医科大学総合医療センター、千葉県がんセンター、千葉大学大学院医学研究院、東京医科大学病院、東京大学医学部附属病院、栃木県立がんセンター、獨協医科大学病院、浜松医科大学医学部附属病院、結核予防会複十字病院、防衛医科大学校病院、杏林大学医学部附属病院、東邦大学医療センター大森病院、国立病院機構東京医療センター、山形県立中央病院、君津中央病院、日本海総合病院、帝京大学医学部附属病院、大阪大学医学部附属病院、愛知県がんセンター病院、函館五稜郭病院	
4.研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。
	(3)情報の種類	性別、生年月日、原発臓器、組織型、病期、原発臓器に対する治療内容(手術年月日、術式、根治度、手術以外の治療開始日、治療内容)、肺転移術前の再発・転移の有無および治療内容、肺転移の発見日、発見動機、個数、腫瘍マーカー値、肺転移に対する治療内容、最終生存年月日、転帰、初回肺術後再発の有無、死因
	(4)情報の取得の方法	過去の先行研究(転移性肺腫瘍に対する肺切除症例データベース作成のための多施設共同コホート研究(帝倫19-013-4))で取得されたデータを二次利用します。
5.研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。	

	試料・情報は、(2)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 外科学講座
		氏名	塚本遥
	(2)試料・情報 の管理責任 者	(1)の研究責任者と同じ	
	(3)共同で研究 を実施する 機関とその 責任者	該当なし。	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについ て	本研究は、他機関と試料・情報の授受はありません。		
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 外科学講座 研究責任者・窓口担当者：助教 塚本 遥（つかもと よう） 電話番号：03-3433-1111（内線 3401-2） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00		

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。